

彩雲

大和市自衛隊協力会新聞 第52号

発行責任者：谷 悟累
 大和市深見西2-6-28 (事務局)
 TEL：046-261-9700
 FAX：046-264-3511
 編集協力：第4航空群 広報室



対潜訓練中のP-1型航空機

新着任指揮官紹介



航空集団司令部幕僚長
海将補 伊藤 秀人

◆プロフィール◆

出身地：北海道
 出身校：防衛大学校
 職種：航空装備
 趣味：読書
 着任：平成28年7月1日 第34代
 <前配置>
 平成27年 海上幕僚監部総務部総務課長 (市ヶ谷)

大和市自衛隊協力会の皆様には、平素から深いご理解と格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。この度、航空集団司令部幕僚長を拝命しました伊藤です。厚木基地での勤務は、約十年ぶりの二回目となります。航空集団は、全国の海上自衛隊の航空機の運用を担っており

りますので、重責を自覚し、事態即応の部隊運用とそれに耐えうる精強な部隊を練成することで、国民の皆様の期待に応えうる強靱な航空集団となるよう努力して参りたいと思っております。厚木基地所属の隊員が、任務に訓練に邁進できま



すのも大和市をはじめとする地元の方々のご支援、ご協力があったることであり、改めて感謝申し上げます。大和市自衛隊協力会と会員の皆様



様の今後益々のご発展を祈念いたしますとともに、今後も変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



◆プロフィール◆

出身地：熊本県
 出身校：防衛大学校
 職種：戦術航空士
 趣味：スポーツ全般
 着任：平成28年7月1日 第35代
 <前配置>
 平成27年 海上幕僚監部人事教育部人事計画課長 (市ヶ谷)

平成二十八年七月一日付、第四航空群司令を拝命し、東京都新宿区市ヶ谷にありま



第4航空群司令
海将補 松本 完

◆プロフィール◆

出身地：鳥取県
 出身校：防衛大学校
 職種：固定翼操縦士
 趣味：野球
 着任：平成28年5月30日 第33代
 <前配置>
 平成27年 第3航空隊司令 (厚木)

五月三十日付、第四航空群司令部首席幕僚を拝命し、第三航空隊司令から着任いたしました平木一佐です。第三航空隊司令在任中は皆様には大変お世話になり、心からお礼申し上げます。



第4航空群司令部首席幕僚
1等海佐 平木 拓宏



第3航空隊司令
1等海佐 **大江 保友**
おえ やすとも

◆プロフィール◆
 出身地：東京都
 出身校：防衛大学校
 職種：固定翼操縦士
 趣味：ランニング、日焼け
 着任：平成28年6月30日 第9代
 <前配置>
 平成26年 統合幕僚監部運用部運用第1課
 (市ヶ谷)

五月三十日付、第三航空隊司令を拝命し、統合幕僚監部より着任いたしました大江一佐です。大和市自衛隊協力会の皆様よろしくお願ひ申し上げます。厚木勤務は初であり、先日晴れて、家族と共に大和市民に登録してまいりました。

自衛隊の任務遂行には、地元の皆様のご理解、ご支援なくしては成り立たないことは言うまでもなく、先日の大和市自衛隊協力会意見交換会におきまして、皆様からの暖かい激励の言葉をいただき、改めて感謝しているところでございます。

今後とも大和市自衛隊協力会の皆様と良好な関係を維持しつつ、皆様の益々のご発展とご健勝を祈念しまして着任の挨拶とさせていただきます。



第4整備補給隊司令
1等海佐 **湯浅 純**
ゆあさ じゆん

◆プロフィール◆
 出身地：徳島県
 出身校：防衛大学校
 職種：装備幹部
 趣味：海外ドラマ鑑賞
 着任：平成28年4月1日 第10代
 <前配置>
 平成25年 海上幕僚監部装備部航空機課
 航空機班長 (市ヶ谷)

四月一日付、第四整備補給隊司令を拝命し海上幕僚監部航空機課航空機班長から着任いたしました。

厚木基地での勤務は、これまで二度、合計約五年にのぼる勤務がありますが、これは私の海上自衛官としての約二十五年に渡る勤務経験の中で部隊勤務年数が一番長い基地であります。

私にとって大変光栄なことと思っております。約十年ぶりの厚木勤務となりますが、大和自衛隊協力会の皆様からは変わらず絶大なるご理解とご支援を賜っていることを伺い、皆様への感謝申し上げます。

今後とも皆様のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、益々のご発展とご健勝を祈念いたしまして着任の挨拶とさせていただきます。



厚木航空基地隊司令
1等海佐 **今井 敬**
いまい けい

◆プロフィール◆
 出身地：大阪府
 出身校：京都教育大学
 職種：回転翼パイロット
 趣味：食べ歩き
 着任：平成28年3月31日 第32代
 <前配置>
 平成26年 自衛隊福井地方協力本部長
 (福井)

四月一日付で、厚木航空基地隊司令を拝命し自衛隊福井地方協力本部長から着任致しました「今井 敬」と申します。

厚木航空基地隊は、後方支援部隊として厚木所在部隊のみならず、厚木基地を利用する他自衛隊全てに対するサポートを任務とする部隊であり、大いにやりがいを感じているところであります。

私は、基地隊司令として、「指導方針を「即応」、安全指導方針として「基本」を掲げ、隊員の服務指導監督に当たっております。

また、広範多岐に渡る後方支援における柔軟な対応において「基本」なくして応用なし、ということを経験に銘じつつ業務を遂行していく所存です。今後ともより一層の皆様のご支援、ご指導をお願い申し上げます。

大和自衛隊協力会会員の皆様方の今後益々のご健勝を祈念致しまして、着任の御挨拶とさせていただきます。



航空管制隊司令
1等海佐 **竹山 好文**
たけやま よしふみ

◆プロフィール◆
 出身地：鹿児島県
 出身校：防衛大学校
 職種：固定翼操縦士
 趣味：ドライブ
 着任：平成27年12月1日 第20代
 <前配置>
 平成26年 第31航空群司令部首席幕僚
 (岩国)

大和自衛隊協力会の皆様には、平素から防衛省自衛隊及び厚木航空基地への深いご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

十二月一日付、山口県岩国基地の第三十一航空群司令部首席幕僚から航空管制隊司令に着任いたしました竹山一佐です。

鹿児島出身、固定翼操縦士です。前回の第四航空群司令部作戦幕僚から八年ぶりの厚木勤務となります。

航空管制隊は、昭和四十八年に厚木航空基地で新編されて以来、四十三年間、航空管制員養成等の任務を担ってまいりましたが、近年は、基地周辺を飛行するドクターヘリ等の民間機を管制する機会も増えており、空の安全を直接担う重責を果たす管制員の育成に身の引き締まる思いで勤務しております。

今後とも、皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大和自衛隊協力会の皆様のご発展とご健勝を祈念いたしまして、着任の御挨拶とさせていただきます。



第51航空隊司令
1等海佐 浮田 隆

◆プロフィール◆

出身地：岡山県
出身校：防衛大学校
職種：固定翼操縦士
趣味：バイクツーリング、各駅停車の旅
趣任：平成28年7月1日 第33代
<前配置>
平成26年 自衛艦隊司令部運用総括幕僚

大和市自衛隊協力会の皆様には、平素より厚木航空基地への格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

八月一日付、第五十一航空隊司令を拝命いたしました浮田でございます。私は昭和六十三年に教育航空隊を終業し、初任地としてワクワクドキドキシながら厚木に着任して以来、これが五回目の厚木勤務であり、前回は、平成二十年の八月まで勤務しておりました。

久しぶりに厚木のエプロンに立つと、八年前にはまだ初飛行を終えたばかりであった、哨戒機P-1が輝く翼を並べ、当時はその構想すらなかった輸送機C-130Rが上空を通過する……わずか十年足らずですが隔世の感があります。

第五十一航空隊は、こうした飛行機が運用を開始するまでの試験等を担当しており、近隣住民の皆様のご理解なしには任務を達成することができません。今後とも大和市自衛隊協力会の皆様の変わらぬご支援をお願い申し上げます。ご健康を祈念し、着任の挨拶とさせていただきます。



第61航空隊司令
1等海佐 北原 浩一

◆プロフィール◆

出身地：神奈川県
出身校：防衛大学校
職種：固定翼操縦士
趣味：散歩
趣任：平成28年3月25日 第26代
<前配置>
平成27年 第1航空隊副長（鹿屋）

大和市自衛隊協力会の皆様には、平素から自衛隊及び厚木航空基地への深いご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

去る三月二十五日付、鹿屋第一航空隊副長から着任しました。厚木航空基地での勤務は五回目となります。この厚木基地でまた勤務できることを大変嬉しく思っています。

第六十一航空隊は、海上自衛隊唯一の航空輸送を任務とする部隊として、昭和四十六年の開隊以来、厚木航空基地に所在し、任務を遂行してまいりました。昨年から、それまでのYS-11型航空機に替えてC-130R型輸送機を運用しています。四月十四日以降に発生した熊本地震では、被災地に向けての支援物資の輸送等を実施しました。

こうした任務を円滑に実施できましたのも、大和市自衛隊協力会の皆様のご支援があったることと認識しております。今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



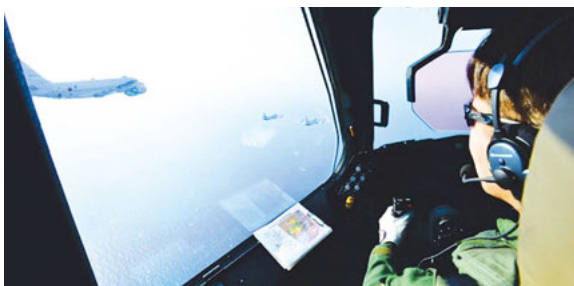
第四航空群
平成二十八年初訓練飛行



平成二十八年一月八日（金）第四航空群（前群司令・二川達也海将補）は、新年の幕開けに際し今年一年の飛行安全を祈願して平成二十八年初訓練飛行を行った。

初訓練飛行にあたり第四航空群司令は「第四航空群が将来に向けて前進するには、One For All, All For Oneの精神を持って総員が丸となって取り組んでいかなければならない。諸官と共に様々なものに『挑戦』し共に前に進もう。」と訓示、その後、群司令の「かかれ」の号令に一斉に搭乗員が航空機に乗り込み、大空へ飛び立って行った。

今年の初訓練飛行は、昨年三月に第三航空隊に配備されたP-1哨戒機二機とP-3C哨戒機三機で実施した。厚木航空基地を離陸したP-1とP-3Cは美しく冠雪した富士山を背景にフォーメーションフライトを行ない、富士山周辺、駿河湾及び相模湾上空を飛行した。



観桜会で「日米友情の桜」
厚木航空基地内ロータリーに植樹



第四航空群（前群司令・二川海将補）は去る三月二十四日、米海軍厚木航空施設司令官ブッシー大佐をはじめとする多数の来賓を含む約四〇〇名を招待し、厚木航空基地観桜会を行った。若干肌寒さが残る天候だったものの、基地内の桜の開花も間に合った。

今年の観桜会において、ブッシー大佐から第四航空群に対して、「友情の桜」として桜の苗木が贈られ、厚木航空基地に所在する日米両部隊間の深い絆を部内外に示した。

四月十二日、日米両指揮官による『友情の桜』の植樹が行われた。場所は、厚木航空基地の正門を通過した正面にある、基地のシンボルであるロータリー中央の赤い鳥居前であり、日米両隊員が出動時に毎日目にすることとなる。二川前群司令から「この桜の成長とともに、我々の友情も大きく成長していくことを期待している。」とブッシー大佐に声をかけた。今後日米友好の証として厚木航空基地の新たなシンボルとして花を咲かせてくれることを隊員一同楽しみにしている。



厚木航空基地駅伝大会



三月八日、第四航空群は「厚木航空基地駅伝大会」を開催した。本大会は基地内で行なう体育競技の一つであり、隔年で実施している。米海軍の参加も得て、厚木航空基地及び硫黄島所在部隊の隊員

とともに健脚を競い合った。各部隊は米海軍チームを含め八チームに分かれ、五区は先任伍長、最終十区は指揮官等、他の区間は各チーム戦略を練り走者を決定し、一チーム十人（うち女性一人）の走者が一周約二キロのコースを力強く駆け抜けた。競技は、第四航空群司令部・硫黄島航空基地隊チームと厚木航空基地隊チームが激しい首位争いを展開し、接戦を制した厚木航空基地隊チームが見事優勝を果たした。



厚木マーカス活動状況



厚木マーカスは、今年も関東サッカーリーグ二部に所属し、一部昇格を目指して日々の練習に励んでいる。四月二日から開幕した本リーグは早くも後期四節までを終了し、七月の時

点で五勝七敗二引分け、リーグ七位と一部昇格は厳しい状況となった。暑い季節に入ったが、自衛隊のチームの強みである気力と体力で他のチームを圧倒し、リーグ残り四試合に全て勝利して、少しでも順位を上げるべく日々の練習に励んでいる。オフシーズンには地域交流にも力を入れており、今年の二月及び五月には引地台中学校、三月には小学生のサッカーチームである大野原FCなどにサッカー指導を行った。今後もサッカーを通じて更に多くの地域の方との交流を図ってもらいたい。



新成人に記念写真の贈呈

二月二十五日、大和市自衛隊協力会から平成二十七年成人の仲間入りをした十五名の隊員に対して記念写真が贈呈されました。（当協力会松森理事撮影）贈呈は、二川群司令



同席のもと、会長の大高昭三氏から成人した隊員代表の第三航空隊 高見凌平 海士長に目録と記念写真が手渡されました。高見凌平 海士長は、成人になった喜びと、責任の重さを痛感しているると述べていました。

激励品の贈呈



二月二十五日、第四航空群司令部において、大和市自衛隊協力会から厚木マーカス（サッカーチーム）に対し、清涼飲料水の激励品が送られました。激励品は、大高会長から二川群司令同席のもと、山

崎裕貴 監督に目録が手渡されました。山崎監督は、海上自衛隊を代表しているという誇りを胸に、厳しさを全面に押し出しつつも、フェアプレーを心掛け、今年こそ関東リーグ一部昇格を目指します！と力強く述べていました。

また、同日当協力会から硫黄島航空基地隊員に対し、清涼飲料水の激励品が送られました。激励品は、大高会長から二川群司令同席のもと、硫黄島航空基地隊司令の藤木 乾 一等海佐に目録が手渡されました。藤木司令より「毎年隊員が心待ちにしていたプレゼントであり、勤務が終わった後に、翌日の英気を養うための一杯としてありがたく活用させていただきます」とのお言葉がありました。

※硫黄島航空基地は、大和市から南方一三〇〇キロに位置している硫黄島島内にあり、NLP等の支援及び小笠原諸島への災害派遣等の航空業務に二百名強の隊員が元気に勤務しています。



ファミリー・サポート・センター設立

七月十一日に第四航空群の支援の下、当協力会を含む支援六団体の協賛による「厚木航空基地ファミリー・サポート・センター（AターFSC）」が設立されました。

AターFSCは、厚木航空基地の海上自衛隊員が災害派遣等で緊急登庁を命じられた際、保護が得られなくなる園児・児童を、支援団体の会員で構成される提供会員が一時的に預かるというものです。

AターFSCは、湘南水交会の植月政則会長を代表、同会の安田義人副会長を事務局長とし、各団体から派出された役員等で事務局を構成して活動していきます。

当協力会会員のAターFSC提供会員への申込みは、当協力会HPにより常時ご案内いたしております。その他AターFSCに関するお問い合わせは、当協力会事務局で承ります。



大和市自衛隊協力会 公式ホームページ

自衛隊員様に日頃の労をねぎらう場を

提供できるよう、当協力会会員の

飲食店をご案内しております！

スマートフォンでもご利用頂けます！

大和市 自衛隊

検索

<http://yamatoshi-jeitai-kyouryokukai.com/>